アドミッション・ポリシー

大学全体

愛知学院大学では、学力と意欲の点で優れた人をできるだけ幅広く募り、公平かつ多様な方法で選抜するという方針に基づき、様々な入試形態を用意しています。
この受け入れ態勢のもと、卒業認定・学位授与の方針（DP）及び教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるのにふさわしい、以下に掲げる人を受け入れます。

① 愛知学院大学の建学の精神を理解できる人。
② 志望学部・学科の教育目標、教育内容をよく理解する人。
③ 高等学校等の教育課程における基礎的な知識・技能と、それに基づく思考力・判断力・表現力を身につけている人。
④ 主体性をもって多様な人々と協働できる能力を身につけている人。

文学部歴史学科

歴史学科が愛知学院大学・文学部のアドミッション・ポリシーに基づき、かつ歴史学科の教育上の目的にそって求めるのは以下のような人です。第一に、歴史を学問的に研究すること、すなわち文献や資料を収集・整理し、正しい歴史的方法により分析し、論理的に解釈することを通して、歴史の実態や本質を明らかにすることに学力・適性のある学生です。第二に、現代社会の諸問題について関心を持ち歴史的方法を駆使してそれを理解し解決をめざすことに意欲のある学生です。歴史学の修学・研究に関しては、意欲や意思力、知識・言語能力・思考力・コミュニケーション力など多様な力が必要であることから、以下のような多様な入試区分を設け、各々においてそれぞれの求める力を備えた入学者を選抜します。

① 一般入試: 本学科入学までに準備しておくべき基礎学力を判定する。すなわち国語・外国語(英語)の試験により、資料や文献の読解や論文叙述に必要な言語能力を、地理・歴史、公民の試験により、大学で学ぶ歴史学の基礎となる知識の習熟度を、数学の試験により、人文科学において必要な数理的な思考力を判定する。
② AO入試: 面接試験では本学科で歴史学を学びたい理由や独自の能力や高校時代までの活動実績等を中心に質疑を行い、歴史学の修学に必要な論理的思考力や歴史を学ぼうとする意欲などを総合的に判定する。
③ 公募制推薦入試: 公募制推薦入試Aにおいては、高校時代の成績により高等学校で学ぶべき基礎学力の習熟度をはかり、課題文設問型の試験により論理的思考力や言語能力など歴史学の修学に必要な基礎力を判定する。また公募制推薦入試Bにおいては、国語・英語の適性検査により、資料や文献の読解や論文叙述に必要な言語能力を重点的に判定する。

文学部日本文化学科

日本文化学科では、「言語」「文学」「思想と芸術」「社会と民俗」の4つの領域から、多角的に日本文化について考え、学ぶ意欲のある学生の入学を期待しています。
また、日本文化学科では、卒業認定・学位授与の方針（DP）及び教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるのにふさわしい、以下にあげる学生を求めます。

① 高等学校での各教科、特に国語・社会・英語についての基礎学力を有し、大学で発展的内容を学ぶ意志のある学生を求めます。
② 正確な日本語の読み書きの基礎力をもつ学生が望ましいと考えます。一例として、漢字検定準2級程度の学力を有する学生を求めます。
③ 他者の話の要点を捉えてメモし、考察の材料にできる能力は、大学の講義を受ける上で必須です。さらに、身の回りの文化や現象 に、「なぜ？」「どうして？」という自分なりの疑問をもち、答えを探ろうとする姿勢をもつ学生を求めます。

文学部英語英米文化学科

英語英米文化学科では、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるために必要な、以下に掲げる目的意識ならびに意欲、資質、能力を身につけた人物を求めます。

① 世界共通語である英語の能力を高め、英語圏諸国の文化事情を積極的に学ぶことに意欲的な人。
② 英語、社会、国語の基礎的な学力があり、新聞等のメディアを通じて社会情勢に関心をもち、その理解に努める人。また特に実用英語検定準2級水準以上の英語力を身につけた人。
③ 将来、自分の職業や生活においてさまざまな社会への貢献をすることに意欲的な人。

文学部グローバル英語学科

グローバル英語学科では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容を踏まえ、以下の人材の入学を求めます。そのために当学科では、大学が実施する各種入試の特徴を踏まえて、試験成績、願書情報等を考慮の上、求める人材の選別に努めます。

① グローバル社会が求める英語運用能力を備え、円滑で豊かなコミュニケーション能力を身につけようという意欲や向上心を持っている人。学科カリキュラムに鑑み、入学時は 各人が実用英語検定準2級取得あるいは同等の英語力を有していることが望ましい。
② グローバル社会における多文化や異文化に関する知識、ホスピタリティ力（思いやり力）、情報収集力、論理的思考力、問題解決力などの「汎用的能力」を身につけたい人。
③ グローバル社会における倫理観、自己管理力、グローバル市民としての社会的責任等を主体的に協働して学ぶ意欲と熱意を持っている人。

文学部宗教文化学科

宗教文化学科では、愛知学院大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、宗教文化を学問的に研究することで、人類の遺産である宗教の歴史・文化・世界観を学び、同時に現代人が直面している諸問題に取り組む智慧と主体性を探求する入学者を選抜します。

① ひろく世界の宗教文化を学び、多様な価値観・世界観があることを理解し、多様な人々と共生し協働しようとする人。
② 建学の精神を身につけ、宗教者として地域や社会に貢献したい人。
③ 将来、自らの職業や活動を通じ人々と交流し、社会に貢献したい人。
④ 以上の学びを可能にするための基礎学力、とくに日本語読解力、表現力を備えて、積極的に学ぼうとする意欲のある人を、多様な入試種別を設けて、それぞれの入試ごとに選抜する。

(1) 一般入試：国語・英語・社会などの基礎学力がある人を求め、宗教文化を学ぶ意欲と適性を試験によって判定する。
(2) AO入試：宗教文化を学ぶ明確な意思をもつ人を求め、学業以外の顕著な実績、資格を将来の学修につなげる意欲と
創造力を、面接試験と書類審査によって総合的に判定する。
(3) 公募制推薦入試A：高等学校で学ぶべき基礎学力を習得した人を求め、課題文設問型の試験によって、日本語読解力と表現力を判定する。
(4) 公募制推薦入試B：国語・英語の適性検査によって、学修の前提となる思考力・判断力・表現力を判定する。

心身科学部心理学科

心理学科では、心理学に興味があり人間の理解を深めたい人を受け入れるが、心理学各分野の知識・技術を自分や取り巻く人々の生活および将来的な職業に活かしていきたいという明瞭な意思を持つことが望ましい。

心身科学部健康科学科

① 健康科学を、積極的かつ前向きに学ぶ意欲があるもの。
② 健康運動指導士、保健体育教員、養護教諭、言語聴覚士等の専門資格取得や健康開発科学、スポーツ科学、言語聴覚科学の学修を希望するもの。
③ 健康科学を活かして社会に貢献したいと考え、多様な活動への参加希望があるもの。
④ 主体性を持ちながらも他者を尊重し，他者と協働して、自らを成長させることができるもの。

心身科学部健康栄養学科

① 栄養士、管理栄養士の国家資格の取得をめざす人。
② 栄養面から健康課題に取り組むための専門分野を意欲的に学ぶ人。
③ 健康栄養学科の教育目標、教育内容を理解し、知識や技術の習得に取り組むことができる人。
④ 主体性をもって多様な価値観をもつ人々と協働して学ぶことができる人。

商学部商学科

愛知学院大学商学部は、本学、および本学部の「卒業認定・学位授与の方針」(DP)と「教育課程編成・実施の方針」(CP)に定める教育を受けるために必要な、以下のような目的意識や意欲、資質、能力を身につけた人物を求めます。

① 本学の建学の精神、教育理念・目標を理解する人。
② 本学部の教育目標、カリキュラム内容等をよく理解し、入学を希望する人。
③ ビジネスについての専門的な知識や技能をもって、社会に貢献したいと思う人。
④ ビジネス全般に関心があり、ビジネスについて学ぶ意欲を持った人。
⑤ ビジネスに関する各専門領域(流通、マーケティング、国際ビジネス、会計、金融、情報通信技術、ビジネスと情報との関わり)に関心がある人。

経営学部経営学科

地球規模での競争の激化、情報化の進展、地球環境問題の深刻化など、社会を取り巻く環境はかつてないほどのスピードと規模で変化しています。経営学部では、企業を取り巻くこのような環境変化に対応する人材を育成するため、大学の建学の精神である「行学一体」、「報恩感謝」のもとに、下記のような能力・関心を持った人を受け入れたいと考えています。

① 高等学校等の教育課程における基礎的な知識・技能と、それに基づく 思考力・判断力・表現力を身に付けている人。
② 現代の企業が直面する諸問題に対して興味を持ち、「ヒト(人事・労務)・モノ(生産)・カネ(会計・財務)・情報」といった経営資源を有効に活用する「知識」を身につけ、企業を効率的に運営するための「思考力」を養いたいと考えている人。
③ 主体性をもって多様な人々と協働できる能力を身に付け、リーダーシップを発揮できる人間になりたいと望んでいる人。
④ 将来、会計に関する資格(日商簿記、税理士、公認会計士)、金融に関する資格(ファイナンシャルプランナー、証券アナリスト)、情報処理に関する資格(情報処理技術者)等を取得し、専門的知識を活かして社会に貢献したいと考えている人。

経済学部経済学科

経済学部は、以下のような学力、関心、目的意識をもった学生を受け入れる方針です。

① 経済学を学ぶための基礎的な学力を備えている人。
② 国内外の経済や社会の問題に幅広い関心を持っている人。
③ 経済の仕組みを学んで経済政策の意味内容を理解できるようになりたい人。
④ グローバルな視野から地域経済の発展を担うビジネスパーソンを目指す人。
⑤ 経済学的思考と方法を修得して新しい経済社会の在り方を追求したい人。
⑥ 豊かな人間性を育んで社会貢献のできる場で活躍したい人。

法学部法律学科

1. 求める人物像
法学部法律学科では、愛知学院大学のアドミッション・ポリシーのもと、以下に掲げる意欲や資質、能力等を有する人物を求めます。

① 社会への強い関心を有し、法律学科で身につけた専門的知識・能力を活かして社会に貢献しようとする情熱を有する者。
② 物事を公正に考え、正義を尊び、他者に共感する心を持っている者。
③ 法的諸問題を体系的・論理的に分析する意欲を有する者。
④ 高等学校等での国語、外国語、地理歴史・公民、数学、理科などの学習を通じて、法律学科での学修に必要な基礎学力、論理的思考力、知的素養を身につけている者。

2. 入学者選抜の方針
法律学科は、公平かつ多様な入学試験を実施することで、上記の意欲や資質、能力等を有する人物を選抜します。

法学部現代社会法学科

1. 求める人物像
法学部現代社会法学科では、愛知学院大学のアドミッション・ポリシーのもと、以下に掲げる意欲や資質、能力等を有する人物を求めます。

① 社会への強い関心を有し、現代社会法学科で身につけた専門的知識・能力を活かして社会に貢献しようとする情熱を有する者。
② 物事を公正に考え、正義を尊び、他者に共感する心を持っている者。
③ 法的・政治的諸問題を実践的・主体的に探求する意欲を有する者。
④ 高等学校等での国語、外国語、地理歴史・公民、数学、理科などの学習を通じて、現代社会法学科での学修に必要な基礎学力、論理的思考力、知的素養を身につけている者。

2. 入学者選抜の方針
現代社会法学科は、公平かつ多様な入学試験を実施することで、上記の意欲や資質、能力等を有する人物を選抜します。

総合政策学部

総合政策学部では、卒業認定・学位授与の方針（DP）及び教育課程編成・実施の方針（CP）に定める教育を受けるために必要な、以下に掲げる目的意識や意欲、資質、能力を身につけた人物を求めます。

① 身近な社会問題についての問題意識をもち、基礎的な情報や知識を取得しており、主体的に解決したいという意欲がある。
② グループワークなど協働の場で、他の人と協力しながら課題に取り組むコミュニケーション力と、それをやり遂げる意欲がある。
③ 高等学校等の教育課程における基礎的な知識・技能と、それに基づく思考力・判断力・表現力をもつ。
特に、(1)現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎と、それと関連させながら人間としての在り方生き方を考える力、(2)人間と人間との関係の中で互いの立場や考えを尊重しながら言語を通して円滑に相互伝達・相互理解を進めていく能力、(3)外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と能力をもつ。
④ 求められる課題に最後まで取り組むことができる。

薬学部

医療人としての倫理観と使命感をもとに、生涯を通じて自己研鑽に励み、チームの一員として積極的に医療に貢献し、生命科学の進歩や発展を通じて人間の幸福を追求できる高い志をもつ学生を求めています。
高校3年間において、理科系科目（化学、生物学、物理学）および数学を勉学し優秀な成績を修めると共に、語学（国語、英語）についても十分に修学し、論理的な思考ができ、主体的に勉学に努めることができる学生を希望します。

歯学部

歯学部は、優れた人材を公平かつ多様な方法で選抜するという方針に基づき、卒業認定・学位授与の方針（DP)及び教育課程編成・実施の方針（CP)に定める教育を受けるのにふさわしい、以下に掲げるような人の入学を求めています。

① 人としての基本的モラルを身につけている人。
② 感謝と思いやりの精神を持っている人。
③ 歯学教育を受けるために必要とされる十分な理系の基礎学力を持っている人。
④ 論理的思考に優れ、豊かな自己学習能力を涵養しようとする人。
⑤ 医療人としての強い使命感と高い志を持ち、社会に貢献することを希望する人。
⑥ グローバルな視野と主体性を持ち、協働して歯科保健・医療を実践しようとする人。